



海上自衛隊の魅力をもっと体感

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之 1等陸佐）は、9月10日（土）、海上自衛隊第2術科学校（神奈川県横須賀市）で行われた一般公開に参加した。

この一般公開は、第2術科学校の「オープンスクール」として毎年開催され、語学等の公開講座をはじめ、木工製作やガスタービンエンジンの運転といった体験教室、艦艇内の見学や隊員の行進展示等といった様々なイベントが行われた。

浜北募集案内所からは高校生4名が参加し、スタンブラリーをしながら各施設や艦内を巡った。特に掃海艦「はちじょう」では、艦内の操舵席や居住空間を見学するとともに、潜水装備品に実際に触れるなど海上自衛隊の現場を肌で感じていた。

参加者は「行進する隊員の姿を見て、今後の自分の目標を再認識し、改めて身が引き締まる思いだった」などの感想を述べていた。

静岡地本は、今後もこのような場を通じて、自衛隊に対する理解促進を図るとともに、将来の自衛隊を支える熱意ある人材の獲得に繋げる募集広報活動に努めていく。



試験合格を目指し、学生達が最後の追い込み

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之 1等陸佐）は、9月上旬から自衛官採用試験受験予定者に対し浜北募集案内所を解放し勉強に集中出来る場所を提供している。

これは受験予定者から「試験勉強を進める上での疑問点の解消や家に帰ってしまうと勉強に集中できない」等の声が数多く聞かれたため、より多くの合格者を出すため、常に所員のいる案内所の一時解放が実現したものの。

学校帰りに募集案内所を訪れた受験予定者達は、机の上に置いた過去問題集や参考書に向かい、各広報官とともに問題の解き方や考え方を整理し、試験前の準備を鋭意進めている。また、試験勉強のほか、所員による面接シートの作成要領や面接に臨む際の注意点等についても合格に向けた実践的なアドバイスを受けるとともに、各受験者の能力を最大限引き出せるように、所員も一丸となって受験予定者とともに試験前最後の追い込みを連日かけている。

静岡地本は、今後も様々な形で受験者の立場となつて最大限の支援を実施し、一人でも多くの有為な若人が入隊出来るよう受験環境の整備に努めていく。



清水国際高校で静岡地本部長が講演

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之 1等陸佐）は、9月17日（土）、清水国際高校PTA保護者連絡会において静岡地方協力本部長の講演会を実施した。

今回の講演会には学生やその保護者約500人が参加し、本部長の講話の他、自衛隊の募集に関する説明、海上自衛隊の南極地域観測協力事業に関する展示等を行った。

講話では、最近の国際情勢をふまえた安全保障政策や災害時における自衛隊の活動等について、スクリーンに映し出した資料やDVDを交えながらわかり易く説明を行い、参加した保護者からは「日本を取り巻く厳しい国際情勢についてよく理解できた」「災害時における自衛隊の活躍について再認識することができた」等多くの感想が寄せられた。

講演後には、清水募集案内所長・吉崎1等海尉が「自衛官として働くことの魅力」をスクリーンを使いながら説明し、志望者獲得に向けたPRを行った。

また、会場である体育館には海上自衛隊の「南極地域観測協力事業」において採取された本物の南極の水や自衛隊の活動に関する写真パネルを展示し、参加者の注目を集めていた。

静岡地本は、今後も県内の各学校と連携して自衛隊の活動について説明する場を積極的に設けるとともに、学生やその保護者に対し、自衛隊への正しい理解促進を図り、志望者獲得に努めていく。

